

週刊

新宿新聞

THE SHINJUKU SHINBUN

発行所
新宿区新聞社
編集・発行人 喜田 勇
新宿区西新宿1-7-25
ワコービル2F



購読料6ヵ月4,000円、毎月5の日発行、創刊60周年 電話3369-6195 F A X 3369-0759 (発行所) 印刷所 印刷部

主なニュース

- ②面 超高層マンション、住民生活に波紋
- ③面 高田馬場駅周辺にスーパーが9店も
- ④面 地域住民の健康を守る新宿区医師会
- ⑤面 管工・住宅設備の瀬岡本が創立70周年
- ⑥面 「淀橋町会」が創立60周年を祝う

西新宿の東京医科大学病院



副都心・新宿の大学病院 建て替え

副都心・新宿の大学病院は建物の更新期を迎え、先端技術の導入と災害に強い耐震化を図った新病院の建設に乗り出している。西新宿の東京医科大学病院では19年春の完成をめざし、来年春から20階の高層・新大学病院の建設に着手する。2020年のオリンピックを見据え、都心の新宿大ターミナル駅前にふさわしい高度医療が提供できる最新技術設備を導入する。新病院の建設後、現在の病院本館は解体され、メトロ丸の内線西新宿駅と新宿オークタワーを結ぶ地下通路も整備する方針だ。また信濃町駅前の慶應義塾大学病院では18年2月の完成をめざし新病院の建設を行っている。

20階・高層棟が19年に完成

病院規模1.3倍に拡大、個室を拡充へ

青梅街道沿いにある院を建設する。東京医科大学が創立100周年を迎える2016年、この年の春の完成をめざし、新病

院を建設する。東京医科大学は東都から西都(新宿)へ移転する。新病院は地上20階と地下2階建て。現在、駐車場と「高度専門医療が受けられる先心病院として」に建設する。

「東京医科大学病院」が創立100周年を迎える2016年、この年の春の完成をめざし、新病

院を建設する。東京医科大学は東都から西都(新宿)へ移転する。新病院は地上20階と地下2階建て。現在、駐車場と「高度専門医療が受けられる先心病院として」に建設する。

「東京医科大学病院」が創立100周年を迎える2016年、この年の春の完成をめざし、新病

院を建設する。東京医科大学は東都から西都(新宿)へ移転する。新病院は地上20階と地下2階建て。現在、駐車場と「高度専門医療が受けられる先心病院として」に建設する。

「五輪」に向け新病院建設

最先端医療に対応、慶應病院も続く

東京医科大学



既存の病院本館(約7万2千平方メートル)の1.3倍、約9万7千平方メートル。各部門のスペースが拡充される一方、病床数は適正な有効利用が図られるよう

は、立体駐車場の建設時地下歩道の建設を行う予定だ。

新病院の延べ床面積は既存の病院本館(約7万2千平方メートル)の1.3倍、約9万7千平方メートル。各部門のスペースが拡充される一方、病床数は適正な有効利用が図られるよう

は、立体駐車場の建設時地下歩道の建設を行う予定だ。

新病院の延べ床面積は既存の病院本館(約7万2千平方メートル)の1.3倍、約9万7千平方メートル。各部門のスペースが拡充される一方、病床数は適正な有効利用が図られるよう

は、立体駐車場の建設時地下歩道の建設を行う予定だ。

新病院の延べ床面積は既存の病院本館(約7万2千平方メートル)の1.3倍、約9万7千平方メートル。各部門のスペースが拡充される一方、病床数は適正な有効利用が図られるよう

は、立体駐車場の建設時地下歩道の建設を行う予定だ。

新病院の延べ床面積は既存の病院本館(約7万2千平方メートル)の1.3倍、約9万7千平方メートル。各部門のスペースが拡充される一方、病床数は適正な有効利用が図られるよう

は、立体駐車場の建設時地下歩道の建設を行う予定だ。

この再開発計画はバブ

に完成している。

た」とい

期に合わせ、メトロ丸の内線西新宿駅出入口から新宿オークタワーを結ぶ地下歩道の建設を行う予定だ。

このエリアは、もと

も再開発地区(西新宿6丁目中央地区)に位置している。東京医科大学は20数年前に、新宿区との協議のもと、病院施設

残りの敷地は今後の二

成、新調製基準をクリア

ル後に破たん。由に浮いていた形となっていたが、今回、新病院計画が具体化したことで、いよいよ実現化することになった。

残りの敷地は今後の二

成、新調製基準をクリア

ル後に破たん。由に浮いていた形となっていたが、今回、新病院計画が具体化したことで、いよいよ実現化することになった。

残りの敷地は今後の二

成、新調製基準をクリア

ル後に破たん。由に浮いていた形となっていたが、今回、新病院計画が具体化したことで、いよいよ実現化することになった。

残りの敷地は今後の二

成、新調製基準をクリア

ル後に破たん。由に浮いていた形となっていたが、今回、新病院計画が具体化したことで、いよいよ実現化することになった。

か?注目される。



慶應大学病院も建替え 10階建ての新病院棟を建設

新病院の工現場

り着手。既存の1、2、6、7号棟、中央棟を解体、地上10階と地下2階建て(延べ床面積約7万5千平方メートル)の新病院棟を建設するもので、18年2月に完成する。その後、19年10月にかけて既存病棟(2号棟)と結ぶ連絡通路などの工事を行う。新病院の低層部には腫瘍センターなど先端技術を導入した中央診療施設等が配置される。既存病院の施設は完成から数年が経過、災害に強い病院に変えるのが狙い。2017年度に慶応大学の医学部を創立して百周年を迎えることになり、その記念事業として進められている。

秒読み

に四葉会(4社)というシネシティ広場を囲む企業連合があった。その一つ、東宝はコマ劇場を建て替え、30階ホテルとシネコンに、ヒューマックスはレジャービルを運営、東亜興業から土地を取得したアパは28階ホテルを建設中だ。東急レクリエーションのミラノ座は閉鎖して建て替え準備中だ。ミラノ座の東急レクは佐藤進という名物会長が切切り、テレビ局を誘致して、世界に情報発信していく、という壮大なビジョンを持っていた。また、外野からは西武プリンスと東急レクが合同で一大高層ビルを造るといふ「夢」も聞こえてくる。巨大建築物ができれば、歌舞伎町は再生できるのか?ここが問題だ。なるほど、巨大建物で働く人が利用する分だけ飲食業は売り上げを伸ばし、外国人宿泊客が増えれば、ホテルも飲食店も売り上げを伸ばす。肝心なのは周辺の商店街の利益だ。巨大建築物の「外側」を客が回遊して初めて周辺は潤う。回遊させるためには、アミューズメント施設、ライブ、ショー劇場などの集積も求められる。ともかく歌舞伎町は新しく生まれ変わろうとしている。風俗産業、を断ち切ったの挑戦。新しい文化都市、劇場街に生まれ変わることが出来るか?注目される。